

編集後記

アメリカ発で様ざまなものが世界を席卷しています。ハンバーガーやコココーラ等の食文化のみならず、アメリカンポップスを始め、皆さんの大好きなデイズニーランドもその代表格ですが、ポジティブ・シンキングなどというものもその一つです。そこから派生して、今世間を席卷しているのは「自己肯定感」や「達成感」という何とも手に負えない代物です。揺るぎない自己肯定から果たして何が生まれて来るのでしょうか。

政治家も責任ある立場の人たちもその場を切り抜けるためだけの言い訳に終始し、誰も責任を取ろうとしません（だってわたしが悪いのではない。悪いのは……だ）。行政機関は自分たちのミスを認めようとはしません（間違っているのは理解できない国民・市民の側だ）。社会は無責任な大人で溢れかえっています。子供たちはそれを見て育ちます。上手に言い訳の出来ない、言葉に習熟していない子供たちがキレるのは理の必然です。

教育機関も人ごとではありません。自分たちのアライ作りとしか思えない、満足度調査なるものを学生・生徒たちを対象に実施し、それで教育現場の評価をしようとしています。